

軍事極秘

自昭和十七年四月一日  
至昭和十七年四月三十日

陣中日誌 第六號

20506

歩兵第十聯隊第七中隊



0295

陸軍

月日	勤務	命令
四月一日 水曜日 晴後雨 於クラビラー	<p>一 本日ハ休養日ナルヲ以テ午前中 班内ノ清潔整頓ヲ            ナシタル外 全員休養セシム</p> <p>二 十五時ヨリ全通ヲシテ体操遊戯ヲ實施ス</p> <p>三 本日ノ勤務員左ノ如シ</p> <p>巡察將校 橋本 少尉</p> <p>日直下士官 中塚 軍曹</p> <p>日直上等兵 仁井 上等兵</p> <p>第一分哨 嶋 伍長以下五名</p> <p>第二分哨 平岡 上等兵以下五名</p> <p>第三分哨 佐々木 上等兵以下五名</p> <p>第四分哨 松下 伍長以下六名</p>	<p>四 西作命第一八班</p> <p>第三大隊命令</p> <p>七月一日</p>

0296

命令五

渡作命第一二六號

南警備隊命令

七月一日 一六ノ

一師團八肅清討伐間各部隊ノ防疫ニ遺憾ナキヲ期スルヲノ第二防疫給水部長ヲシテ移動検査

一大隊ハ一部ノ兵カラ差出シ雷分ノ間「クワラン」  
一以憲兵隊長ノ指揮下ニ入ラシメントス  
ニ各隊長ハ左記ノ通兵カラ四月三日。九。〇迄ニ  
「セレムバン」分駐所ニ差出シ「クワラン」ニ  
憲兵隊長ノ指揮下ニ入ラシムベシ

五記

差出部隊	上	差出	兵力
第五中队	一	一	三
第七中队	一	一	三
第八中队	一	一	四

東京・大橋納

0297

陸軍

班ヲ編成シ各警備隊及直轄部隊ノマシリア原  
虫検査業務ニ任ゼシムル

ニ各地區警備隊ハ巨記移動検査班派遣間衛  
生部ノ一部ヲ以テ自隊ノ検査業務ニ協力セムベシ

五 記

四月十六日 セレムハン駐屯部隊

四月十七日 南地區警備隊(タイピン警備隊ヲ含ム)

四月十八日 北地區警備隊ノ各分屯隊

四月十九日 北地區警備隊ノ各分屯隊ハ十九日早朝迄ニ検査

資材ヲ第三大隊本部ニ提出シ置クベシ

四 検査ノ細部ニ関シハ井上軍醫ヲシテ指示スル

五 宿營棚ノ給養ハ「セレムハン」ニ在リテハ第四野戰

病院「マラツカ」ニ在リテハ第一大隊本部ニ於テ

担任スベシ

0298



現在頁九

命令 六

會報 七

異動 八

南警備隊長 渡邊 大佐

下達法 各隊命令受領者ヲ集メ印刷交付

歩兵第土勸隊日日命令 七月一日 第六隊本部

陸軍兵長 倉本 好人

陸軍伍長

第支隊會報

七月一日 第六隊本部

一本ヨリ別紙「セレムハン」第三大隊酒保規定基

キ酒保ヲ開設スルニ付各隊ハ之ヲ利用セシメラレ度

陸軍上等兵 兼 田文男以下三名

第三地區戦跡記念碑及戦死位置標示ノタメ出

張中ノ新任務終了ニシキ本日無事中队復歸ス

陸軍一等兵 前川 孝人

第四野戦病院入院中本日退院中队復歸ス

九五名

東京・大橋納

0299

月 日

勤 務

四月二日 水曜日 晴後雨 於多ラビエ  
一、九時五分ヨリ十二時迄戦闘教練運動及射撃連發ヲ實施セシム

教官 橋本 少 尉

演習人員 三十名

二十六時ヨリ体操遊戯ヲ實施ス

二、中隊西作命第十八號ニ基キ美戸一等兵以下三名ヲセシムハニ補助憲兵トシテ服務セシム

四、本日勤務員戸如シ

巡察將校 大杉 少 尉

日直下士官 藤崎 伍 長

日直上等兵 唐崎 上等 兵

第一分哨 桂 伍 長以下五名

第二分哨 倉 本 兵 長以下五名

陸 軍

0300

勤務	現在員 月 日	會報
<p>三、本日警備員勤務員戸如し</p> <p>迷 察 下 士 官 中 隊 軍 曹</p>	<p>四月五日 全曜日 晴 後雨 於多ラセライ</p> <p>一中隊八九時五分橋本少尉以下二十六名トレンビ方面掃蕩後、再調査ヲ實施セシム 十三時五十分全員無事歸隊シ不傾分子一名ヲ刺殺ス</p> <p>二、本日ヨリ慰安所開設セルヲ以テ午後一般ニ休養セム</p> <p>本日警備員如し</p>	<p>五、</p> <p>一、別紙豫定表ニ基キ聯隊兵器修理ヲ實施スルニ付豫メ準備セラレ度</p> <p>九二名</p> <p>第三分 哨 考 本 兵 長 以 下 五 名</p> <p>第四分 哨 打 坂 伍 長 以 下 七 名</p> <p>步兵第土聯隊會報 七月二日一六六部 七レハハバン部隊本部</p>

東京・大橋納

0301

命令

四

陸軍	日直下士官	菊原	菅
日直上等兵	仁井	上等兵	兵
第一分哨	柳路	伍長以下五名	
第二分哨	佐々木	上等兵以下五名	
第四分哨	高橋	伍長以下五名	
步兵第二聯隊日々命令	兼	田	文男
陸軍上等兵	兼	田	文男
陸軍兵長命令(三月一日附)	沖野	竹次	
陸軍一等兵	沖野	竹次	
同	岡田	増雄	
同	福本	勝西	
同	長光	正勝	
同	藤岡	勇勝	
同	森脇	亥三	男

0302



各 頭 書 ノ 中 隊 ニ 配 屬 督 ヲ 命 ス	一 ク ク 陸 軍 兵 長 山 本 正 男	一 陸 軍 衛 生 上 等 兵 ヲ 命 ス (三月一日附)	一 陸 軍 衛 生 上 等 兵 武 永 敏 雄	陸 軍 上 等 兵 ヲ 命 ス (三月一日附)	ク 同	ク 同	ク 同	ク 同	ク 同	ク 同	ク 同	ク 同	ク 同	高 橋 豊 太	白 井 壽 恵	高 原 壽 督	吉 本 季	西 本 健	原 久 康	住 原 大	森 下 六 郎
---	---	--	--	---	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	------------------	------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------------

東京・大橋納

0303

異動	現在員	月日	勤務
五 陸軍一等兵 山田松夫	六 九三名	四月四日 土曜日 晴後雨 於クヲビエー	<p>昭南島兵站病院入院中本日無事 中隊復歸ス</p> <p>一 中隊八本日ヨリ各分哨交代ヲ八時起 亦同時トシ十時ヨリ分哨連番者モ午前中、教育訓練ヲ受ケ午後兵隊其、他、午入ヲシタル後休養スル標定ハ</p> <p>二 十時ヨリ兵營裏山ニ於テ戦闘各個教練地、コハ林内ニ於ケル戦闘教練ヲ實施ス</p> <p>教官 官 橋本カヲ 尉</p> <p>演習人員ニ三名</p> <p>二 午後八時各有轉車ノ手入ヲシタル後一般ニ休養セシム</p> <p>四 本日ノ勤務員左ノ如シ</p> <p>巡察將校 御端曹長</p>

陸軍

0304

命令

五

日道下士官

鴨 伍長

日直上等兵

兼田 上等兵

第一分哨

藤崎 伍長以下五名

第二分哨

今田 伍長以下五名

第三分哨

平岡 上等兵以下五名

第四分哨

松下 伍長以下五名

西作命令第一九號

第三大隊命令

四月四日 一六〇〇

一、大隊の教育實施、夕メ一部兵力が配備、

變更ヲ實施セントス

二、各隊長ハ配属中、進撃砲手並進撃砲手ヲ

四月六日迄ニ本属ニ復帰セシムベシ

第三大隊長代理 西原大尉

下達法 印刷交付

東京・大橋納

0305

陸軍

現在員  
月 日

六 九三名

四月五日 日曜日 晴 於クワラビニ

一中隊十時ヨリ平素ノ手入ヲ検査シ次期作戦準備ノタメ中  
隊社各分哨ノ自轉車検査ヲ實施ス

大体ニ於テ手入自轉車ノ故障ニテ少ク良好ナルト云ハ  
諸兵ニ注意シ一層手入ノ方全ク期スル様注意ス

皆ハ此ノモト作戦以來ノ教材ト云ハ長距離ヲ自轉  
車ニヨリテ行軍ノ期間ヲ續行シテ来タ皆ガ之等自轉

車ニ蒙リタル恩恵ハ實ニ大ナルモノアル 此ノ駐留間ニ  
エナツテ手入ヲオキナイノハ實ニ自轉車ノ愛護心又教恩ノ心  
カ足りナイカラザアル 自今ノ自轉車ハ恰ニ騎兵ノ自  
ラ子ノ如ク愛スル様一層手入ヲ修理ノ方全ク期シ次

期作戦準備ニ道際ナカラシムルヲ要ス

二十時ヨリ全員各自ノ自轉車ノ手入ヲ實施セシム

0306

勤務

二本日勤務員戸如シ

逃察下士官

菊原軍曹

日直下士官

小田兵衛長

日直上等兵

唐崎上等兵

第一分哨

打坂伍長以下五名

第二分哨

寺本伍長以下五名

第三分哨

竹内伍長以下五名

第四分哨

桂伍長以下五名

命令

四

第三大隊日々命令

七月四日ハニ

一東ル八月ヨリ約五日間、豫定ヲ以テ週撃砲手教

育ヲ實施スルニ付、教育希望中隊ハ同日九三

〇迄ニ富田中尉、許ニ修業兵ヲ差出シ教育ヲ

受ケシムヘシ

本教育間、宿營給養ハ大隊砲小队、担任トス

東京・大橋納

0307

會報

五

南警備隊會報

四月四日一六。セレムハニ警備隊本部。

陸軍

一警備隊本部表門歩哨北尾一等兵及聯隊砲中隊  
歩哨清水一等兵公共ニ態度嚴正ニシテ守則、記憶程  
解良好警覺ハスル可ナリ 第四野戦病院  
歩哨江川一等兵ハ態度嚴正ヲ父々守射、記憶理  
解共ニ不十分ナリ

一本四日十九時ヨリ「バラタイヌ」公園（兵站支部東方一五  
〇米）ニ於テ「セレム」ハニ有志主催皇軍慰問、目  
的ヲ以テ踊ヲガヘラ、芝居ヲ實施スルニ付勤務ニ支  
障ナク限リ觀覽セシムルコトヲ得

異動

陸軍兵長 山本 正 男

四月三日より中隊ニ配属督ヲ命セラル復歸ス  
陸軍一等兵 西本 西 男

四月六日附テ聯隊本部ニ勤務ヲ命セラル

0308

現在員 日	勤務
七 九三名	三本月勤務員在ノ如シ
四月六日 月曜日 晴	巡察下士官
於多ラビラー	日直下士官
一中隊八十時ヨリ至時迄兵營北方ニテ道路ニ沿フ地形地物ノ利用地敷討各個教練ヲ實施ス	日直上等兵
教官 橋本 少尉	第一分哨
演習人員 四六名	高永軍曹
ニテ時ヨリクラビラー維持會ノ主催ニヨリ慰問映畫ヲ實施セラル、ニ付勤務ニ支障ナキ全員ニ振軍曹	中塚軍曹
ニテ三名ヲ重シム	加藤上等兵
ニテ三名ヲ重シム	松下伍長以下五名

東京・大橋納

0309

命令

第四

第一 新六隊長着任ニ當リ就任式並初度巡視ヲ實施ス  
 第二 第二分哨 倉本 但長以下五名  
 第三 第三分哨 高橋 伍長以下五名  
 第四 第四分哨 郷路 伍長以下五名  
 第五 第六隊長着任ニ當リ就任式並初度巡視ヲ實施ス  
 第六 第六隊長着任ニ當リ就任式並初度巡視ヲ實施ス

左記  
 各隊ハ左記ノ如ク心得スシ

就任式

服装	場所	日時	内容
軍装ニシテ有蓋所着回リ除キ略紋服用	運送場	四月六日	第一分哨 警備隊
軍装ニシテ有蓋所着回リ除キ略紋服用	運送場	四月七日	第二分哨 警備隊
軍装ニシテ有蓋所着回リ除キ略紋服用	運送場	四月八日	第三分哨 警備隊
軍装ニシテ有蓋所着回リ除キ略紋服用	運送場	四月九日	第四分哨 警備隊
軍装ニシテ有蓋所着回リ除キ略紋服用	運送場	四月十日	第五分哨 警備隊
軍装ニシテ有蓋所着回リ除キ略紋服用	運送場	四月十一日	第六分哨 警備隊

陸軍

0310



會報	會報	命令
×	×	如左
<p>一 左記ノ品ニ月下旬昭南驛附近ニ於テ拾得ス因テ司令部ニ保管セリ心當リ者ハ速ニ部隊本部ニ</p>	<p>一 新大隊長ハ本日着任セラレタリ</p> <p>會報</p> <p>四月六日 一ノ六</p> <p>セレムハン部隊本部</p>	<p>2. 就任式直後將校ニ同式場ニ於テ訓示スル</p> <p>3. 初度巡視ハ就任式直後實施ス</p> <p>在セレムハン部隊巡視経路ハ要圖ノ如シ</p> <p>第三大隊日々命令</p> <p>四月六日 一ノ六</p> <p>セレムハン</p> <p>一 就任式後警備地区初度巡視日割ヲ左記ノ如ク變更ス</p> <p>左記</p> <p>四月七日 クアラ クラン 警備隊</p> <p>四月八日 クワラビラー 警備隊</p> <p>ハハツ 警備隊</p> <p>四月五日 一ノ六</p> <p>セレムハン第三大隊本部</p>

東京・大橋納

0311

陸軍	車縫ヤラシ履	左記	美華帆布	内容品	貯金通帳	2. 日本樂幣	人名刺	現在員八	月日	<p>四月六日 大耀日晴 於クラピラー</p> <p>一中隊八組八日 新大隊長宮崎大尉ノ初度北視アル ヲ以テ午前中 舍内外 整頓並班内ノ清潔整頓ヲ 實施スレム</p>	<p>二十六時ヨリ日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實施スレム</p>	<p>三十九時ヨリクラピラ維持會主催ニヨル慰問映畫實施</p>
----	--------	----	------	-----	------	---------	-----	------	----	---	---------------------------------	---------------------------------

0312

勤務	施 ミラル、ヲ以テ打板伍長以下ニ四名ヲ觀覽セシム
巡察將校	橋本
日直下士官	二 浪 軍 曹
日直上等兵	加 藤 上等兵
第一分哨	竹 内 伍長以下五名
第二分哨	鴨 伍長以下五名
第三分哨	佐々木 上等兵以下五名
第四分哨	今 田 伍長以下七名
命令	第二大隊日々命令 七月十八日
	一 第五中隊、歩兵第四土聯隊追及者ハ各曹長以下十一名、給養班火務監督ヲ担任スベシ
	二 各中隊、第六中隊ヲ欠クハ能筆者一若死
	ヲ大隊本部ニ送水シ戦闘詳報整理ヲ
	援助スルベシ

(續) 谷良・京東

0313

命令	命令	命令
六	X	八
步兵第1聯隊日命令 陸軍少尉 同 校正八位 一、陸軍一等兵 聯隊本部勤務命令 步兵第1聯隊日命令 一別冊内地運送患者八船和十五年陸軍第一、第二 隊各頭者、日附、以步兵第1聯隊補充隊ニ轉 属命令	七 四月六日 七 四月六日 七 四月六日	步兵第1聯隊日命令 陸軍伍長 步兵第1聯隊本部附命令
七 四月六日 七 四月六日 七 四月六日	西 本 西 男	中 崎 賜 基 忠
陸軍		

0314

現在頁  
月 日

九二名

四月八日 水曜日 晴 於 多ラビラ

一本日ハ新大隊長初度逃視サルヲ以テ中隊ハ九時五十分  
管門道路上ニ集合シ十時五十分末隊御迎ヘラヌ  
ニ直ケニクラビラ警備状況報告後十時三十分ヨリ  
逃視十時五十分ヨリ中隊全員ニ射シ左記如キ訓  
示アリ

自分ハ今度三柴少佐殿、後ヲ受ケテ着仕タ若崎大  
村ニアル自分ハ久シク兄弟隊クル歩兵第四土聯隊ニ勤  
務シ今武勲林々タル歩兵第一土聯隊、大隊長ヲ命ゼラレ  
本南ニ懐シク喜ビ勇ニ着仕タ様ナ次弟ニアル  
皆ハ昭和十六年十月八日泰國シニゴラ上陸以來シニホル  
攻略ニ至ルマデ中隊長ヲ核心トシテ一致團結戦闘仕  
務ニ邁進シ林々タル武勲ヲ立テシレ衷心ヨリ敬意ヲ表  
スルモノニアル

東京・大橋納

0315

現在此ノマール作戦ニ一段落ニイテ皆ハ此ノ實素ナル警  
 備ニ就イキルヲアルガ戦開警備又何ニ度ツタテハナイ  
 ノナル 皆ハ此ノ戦後ニ於テ皆個人衛生ニ注意シ  
 武勳ニ輝ク皆ノ病魔ニ冒サレ死スル様テユトカマシテハ  
 ラシ 幸ニ中隊ハ現在患者ヌサナク衛生施設ニ良好  
 ニシテ益々此ノ事ヲ繼續スル様努力カシテケレハウラナイ  
 第二ニ油断大敵ナル 戦争中ト云ハス 戦後ト云ハス  
 常ニ警戒心ヲ旺盛ニシテ不覺ヲトモ標注意スベキナル  
 中隊全員ニ對シテ終リ下士官以上ニ對シテ左記訓示アリ  
 皆ハマール作戦ニ未中隊幹部トシテ中隊長ヲ中心ニシテ  
 此ノ重大責務ヲ充テシ益々中隊ノ武勳ヲ發揚セラレ誠ニ  
 感激ニ堪ヘナイ  
 今自今カ述ヘタ如ク幹部トシテ良ク又、而テ見テアリ  
 常ニ骨肉至情ヲ示ラズニ接シ愈々中隊ノ團結ヲ固

0316

勤  
務

クシ以テ不東亞戦争先逐ニ道懐勅シムルヲ要ス  
二十時三十分大隊長ハハシヲ救護備隊逃視ニシテ營門前踏  
上ニ整列御見送りヲ支

四十七時ヨリ全副体標進敷ヲ實施セシム  
五本日勤務員左ノ如シ

巡察將校

大杉少村

日直下士官

菊原單曹

日直上等兵

藤岡上等兵

第一分哨

倉本伍長以下五名

第二分哨

桂伍長以下五名

第三分哨

寺本伍長以下五名

第四分哨

坂伍長以下五名

陸軍一等兵

上田春三

異  
勤

又

銃工修業ノタメ當分間第三大隊本部ニ勤務ス

東京・大橋納

0317

現在員

月 日

九一名

四月九日 木曜日 晴 於多ラゴロ

一本日ハ中隊ノ休務日ナルヲ午前中兵各自轉車ノ手  
入ラシタル後外出先ニ於テ先訓示ヲ受ヘ勤務ニ支障ナ  
ク全員別外出ヲ許可ス

外出人員三ノ名十八時全員異常ナク歸隊ス

二十八時手分ヨリ全員軍隊演習ヲ實施ス

勤務

二本日勤務員戸如シ

巡察下士官 中 塚 軍 曹

日直下士官 高 永 軍 曹

日直上等兵 渡 利 上等兵

第一分哨 鳥 伍 長以下五名

第二分哨 佐々 木 上等兵以下五名

第三分哨 高 橋 伍 長以下五名

0318



命令

第四分哨 松 下伍長以下五名

第三大隊日々命令  
一左記ニヨリ月別身体検査  
並ニ原虫検査  
兼豫備検査ヲ實施ス

左記

隊 號	日 時	場 所
七六二部隊	四月十日 日 時	五〇五MGA 順序ニ 手合ニ講堂前整列
八八〇警備隊	四月九日	ハハツ醫務室
三三〇警備隊	四月十日 九時三〇分	クララビニ醫務室
警備隊	四月十日 九時	クララビニ 警備隊醫務室

東京・大橋納

0319

會報	五 南警備隊會報	七月九日南警備隊本部
	一 部隊衛生ニテ作戰要務令並陸軍刑法ノ直接衛 兵ニ必要ナル事項ノ研究不充分ニテ其服務不良ナ リ教育指導ヲセラレ度 一 軍紀風紀ニ就テ 兵外出狀況ハ一般ニ良好ナルモ又相互間ノ敬 禮ハ今一層嚴正ナルヲ要ス	
現在員六	九〇名	
月日	四月十日 金曜日 晴後雨 於多ラピラー	
	一 本日九時中隊長以下三〇名セナリ方面ノKM團ノ行動 調査ノタメ午後KM團長、アフトラレム以下八名ヲ檢察 シ目下警察ニ留置取調ヲ支 二 又橋本少尉以下二五名ヲ以テ、ガテラケ方面ニ派遣シ 同地方面ノ悪性KM團ノ調査ヲ實施セシメ其ノ三名	

陸軍

0320

勤務	<p>ヲ檢察シテ取調ラズ 十四時十分各々無事歸隊ス</p> <p>三十一時ヨリ全員休檢ヲ遂ク實施セシム</p> <p>四本日の勤務員左ノ如シ</p>
巡察將校	<p>御 瑞 曹 長</p>
日直下士官	<p>倉 本 伍 長</p>
日直上等兵	<p>仁 井 上 等 兵</p>
第一分哨	<p>今 田 伍 長 以下 五 名</p>
第二分哨	<p>榑 伍 長 以下 五 名</p>
第三分哨	<p>藤 崎 伍 長 以下 五 名</p>
第四分哨	<p>兼 田 伍 長 以下 七 名</p>
會報	<p>五 南警備隊會報</p> <p>四月十日 警備隊本部</p> <p>一警備地區内ニ於ケル治安事項ヲ明確ニシテ現地物資ノ概入ノ逐次復相シ市井販賣飲食品中ニ</p>

(調査員・東京)

0321

陸軍

防疫上顧慮ヲ要スルモノハ、尠シトセズ又土民間ニハ  
 腸チフス、赤痢等蔓延シタル現況ニ鑑ミ各部  
 隊ハ之ガ利用ニ際シテハ特ニ左記事項ニ付監督  
 指導ヲ相成度

左記

1. 魚貝類ノ生食(刺身類)
2. 生野菜類、各種消毒
3. 警備隊ノ指定スル近市井飲食店主ノ禁止
若ハ露店商人ヨリノ飲食品購入禁止
1. 土民言ニ依レバ夜間屋ノ民家ノ戸ヲ叩キ或ハ家人 ヲ呼ビ起スモノアリテ初月夜ヲ感ジソノアリト嚴 ニ斯ル行為ナキ様各隊長ニ於テ留意指導ス ルト共ニ亦斯ルモノヲ發見セシ時ハ隊ニ警備隊 本部ニ直行セシメラレ度

0322

現在員	六	九一名	四月十日 土曜日 晴 於クラピラー	一 爾今休務日部下ノ外ハラ許可シタル場合ハ單ニ 第二種水陸軍ノミナラズ 各隊又亦自ラ所屬ニ 察ヲ派遣シ部下ノ指導監督ニ任ゼシメラレ度
月	日	時	分	二十時ヨリ二十時迄各個教練不動ノ姿勢ヲ擔負立 銃ヲ演練セム
				教練官 橋本 少尉
				演習人員 三四名
				二十四時中塚軍曹以下十名ヲ以テ、カンホンハトレハ一 因、行動調査・夕ノ同地ニ派遣シ同支部長ヲ委員 ヲ連行取調ヘラズ
				三同時兼因 受長以下七名ヲ以テ、ダンギ方面ニ 人 團調査ノ夕ノ赴クニハ 二十時五分無事歸隊ス

(納谷島・東京)

0323

6  
2

勤務	四 本日勤務員在列シ	二 張 畢	陸 軍
上 察 下 士 官	二 張 畢	曹 長	
日 直 下 士 官	御 路 伍	長	
日 直 上 等 兵	渡 利 上 等 兵	兵	
第 一 分 哨	竹 内 伍 長 以 下 五 名	伍 長 以 下 五 名	
第 二 分 哨	鴨 伍 長 以 下 五 名	伍 長 以 下 五 名	
第 三 分 哨	高 橋 伍 長 以 下 五 名	伍 長 以 下 五 名	
第 四 分 哨	打 坂 伍 長 以 下 五 名	伍 長 以 下 五 名	
命 令	五 宮 作 命 第 二 號 第 二 大 隊 命 令 七 四 月 十 日 一 八 二 〇 〇		
一 諸 情 報 ヲ 綜 合 スルニ、今、西 北 方ニ、哩 附 近、 シマニクル地 域 内ニ 敵 性 分 子 拉 英 本 國 敗 殘 兵 遁 入 シ 糧 食 ノ 掠 奪 其 他 一 般 治 安 ヲ 攪 乱 シ アルニ、知シ			

0324

二 第三大隊ハ主力ヲ以テ巨記要領ニ基キ之等敵  
 性分子討伐並肅清工作ヲ實施スントス  
 一 第五中隊(三小隊欠)ハ、カワフニ附近ニ至リ  
 附近ノ状況ヲ搜索シ討伐並肅清ヲ實施スベシ  
 二 第六中隊ハ一小隊ヲ現分駐地ニ配置シ主力  
 ヲ以テ、ガニホンスルニ以北、ガニホンスムウフトノ間  
 ニ分駐シ討伐並肅清ヲ實施スベシ  
 三 第六中隊長ハ、クアラビラニ配置セル第  
 七中隊ノ一小隊ヲ併セ指揮シ現駐地附近ニ  
 在リテ現任務ヲ續行スベシ  
 四 第八中隊ハ主力ヲ以テ現駐地ニ位置シ一部  
 ヲ圖上埋標ニ七附近ニ分駐セシメ現任務  
 ヲ續行スベシ  
 五、セラムヘン配置部隊ハ西原大尉ノ指揮ニ

(新巻員・東京)

0325

陸軍

<p>属シ附近肅清工作ヲ續行スベシ</p>	<p>六 第五中隊ノ小隊ハナニ分中駐シ附近討伐 並肅清ニ性スベシ</p>	<p>三 各分駐部隊ハ敵糧道遮断ニ努ムト夫ニ敵 情搜索ニ萬全ヲ期シ必要ニ應ジ討伐ヲ敢行スベ シ</p>	<p>四 分駐期間ハ第一期 自四月十五日正午 至四月二十日正午 トシ必要ニ應 ジ第二期ニ延長スルニアリ</p>	<p>第二期期間ハ別ニ示ス</p>	<p>五 下南支計少隊ハ第一期間ノ給養ニ関シ之ヲ 備並配給ヲ實施スベシ</p>	<p>六 携行糧薬ハ小銃各人一二發 輕機関銃一 銃ニ付一三日發 榴彈筒一筒ニ付榴彈一發 ヲ準備携行スベシ</p>
-----------------------	--	---	---	-------------------	---	--

0326



<p>一 三子ハ大隊本部ニ在リ明十二日夕迄ニ大隊本部</p>	<p>二 大隊本部ヲ殘留者ハ別命ス</p>	<p>二 各隊ノ位置ハ別紙要圖ノ如シ</p>	<p>一 其ノ他細部ニ關シテハ各隊長ニ別ニ示ス</p>	<p>九 大隊本部ハ四月十日夕迄ニコクヲクランニ前進シ 狀況ニ依リ、テ、ニ介駐ヲ豫期ス</p>	<p>第八中隊 =</p>	<p>第七中隊 =</p>	<p>第五中隊 =</p>	<p>大隊本部 =</p>	<p>八 自動貨車ノ配當反ノ如シ</p>	<p>持ニ、マ、リ、マ、防ニ關シテハ萬ノ三ヲ期スベシ</p>	<p>携行スベシ</p>	<p>七 衛生ニ關シテハ各隊長ニ於テ各種資材ヲ準備</p>
--------------------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------------	---	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------------	--------------------------------	--------------	-------------------------------

(納谷典・京東)

0327



命令	第三大隊長 宮崎大尉 下達法 印刷交付 第二大隊 命令 四月十一日 一六〇〇 四月十二日 大隊本部將校宿舎ニ於テ肅清ニ関スル打合ヲ實施スルニキ各隊長(第八中隊)欠クハ一六〇〇ニ集合スベシ
會報	會報 四月十一日 一六〇〇 四月十二日 大隊本部 一自轉車修理調査表ヲ別紙様式ニ基キ調査 上四月十七日會報時ニ委員ノ許ニ提出 相成度
異動	陸軍上等兵 長光正 勝
現在員	九 九〇名 大隊本部事務補助ノタメ大隊本部ニ出張ス

陸軍

0328

月	日	日曜日	晴	於クワラピラー
四月	十二日	日曜日	晴	於クワラピラー
<p>一、中隊長集合、タメ九時五分、セムハロニ向ヒ出發ス          次期掃蕩ニ際シテ、打合セヲナシタル後十六時四分          歸隊ス</p> <p>二十時ヨリ橋本方尉以下八名ヲ以テクワラピラ周辺地          區ヲラケ、バトキ、ル、シヨキール、ダニキ、方面ノ一般住          民ノ拳銃及小銃ヲ收集ヲ實施セシメ二十時終了シ          無事歸隊ス</p> <p>三爾余ノ者ハ午前中出發準備ヲ完了セシメタル後全          員休養セシム</p> <p>勤務 四本日勤務員五ノ如シ</p>				
		日直下士官	菊原	軍曹
		日直上等兵	桂仁	井上等兵
		第一分隊	桂仁	伍長以下五名

(納谷島・東京)

0329

陸軍

第三分哨 藤崎 伍長以下五名  
第四分哨 山本 伍長以下五名  
現人員 五  
九〇名

四月十日 月曜日 晴 於クララヒラ

一宮作命第土號ニ基キ中隊長以下六七名掃

蕩出動、タメ、七時起未八時三十分自動車

三台ニ合衆シ 第一小隊ヲ先トシ本隊、

先頭ニ〇〇米ヲ先ス、クララワクララニ向

ク前進ス

三十一時三十分、クララワクララニ到着十二時

大隊本部ト共ニ新分駐地ニ向ク前進ス

十三時三十分、カニホンス、ムウツトニ到着地形、

偵察並地方住民ノ動靜搜索、後第

五中隊ト警備ノ交代ヲナシ十五時目的

0330

地「ケ」ニ到着ス	道ケニ市内ヲ巡視シ土民ノ動靜ヲ肅清ス	成ヲ實施スルト共ニ主要地点ニテ所ニ分	哨ヲ配置ス	自動車行ニ依ル長行軍ナレド全員異常ナシ	勤務 三日勤務員左ノ如シ	日直下士官 打 坂 伍 長	第一分哨 御 路 伍 長 以下 五 名	第二分哨 高 橋 伍 長 以下 五 名	部隊衛兵 兼 田 長 以下 五 名	命令 歩兵第10師団日々命令 七月十日 初隊本部	一陸軍一年兵 玉 貞 俊 雄	一同 増 田 博 秀	命 陸軍上等兵 (四月十日)
----------	--------------------	--------------------	-------	---------------------	-----------------	---------------	---------------------	---------------------	-------------------	-----------------------------	----------------	------------	----------------

(納谷典・東京)

0331

一陸軍上軍兵 西 本 西 男

軍機護衛米・命本

現在員

概

九〇名

月 日

四月十五日 火曜日 晴後雨 於ヶ、

一九時橋本少尉以下十名ヲ、東方約八料、地点ニ至リ  
自動車、轉覆狀況及揮發油、捜索並ニ職敗致矣  
掃蕩ノ為出發シ十二時三十分任務終了シ全員無  
事歸隊ス

二九時大杉少尉以下五名 第八中隊「クワクラワン」警備  
隊連絡ノ為出發 十二時任務終了無事歸隊ス

三、十八時二張軍曹以下四名大隊本部ニ狀況報告並ニ連絡  
ノタメ出發二十時三十分無事歸隊ス

本日八、二十時頃ヨリ豪雨來リ警戒非常ニ困難ヲ極ム  
ルモ全員一致協力元氣旺盛ニテ警備 異常ナシ

0332

勤務	四本日ノ勤務員左ノ如シ 日直下士官 巡察下士官 第一分有 第二分有 部隊衛兵	竹外伍長 中塚軍曹 佐々木上等兵 以下五名
命令五	第二大隊日日命令 一當分ノ間診断日ヲ火木土トシ時間ヲ一〇〇〇〇〇 ——一二〇〇ト變更ス	以下五名 四月十四日一六〇ノ
會報六	南警備隊會報 一南警備隊地域ニ於テ敵性分子ノ策動シアル危険	四月十四日一六〇 七レハン警備隊本部

(東京・警備)

0333

区域ニ土民ノ自動車ヲ利用シ僅カノ兵カヲ以テ進入  
スル者アリ不慮ノ危害豫防上最ニ注意セラレ度  
一第三四三野戦郵便分所(セレンバン)ハ四月十五日以降  
一般業務ヲ開始ス

当預金ハ郵便所ノ希望ニ依リ成ルベク各隊毎ニ取  
纏メ、クアラランポール第三四三野戦郵便所ニ豫入ス  
ル如ク取計ヲハレ度

會報

×

會報

報

四月十四日一ノム  
セレンバン第二大隊本部

一腸管系傳染病漸増ニ鑑ミ各隊ハ炊事場便所  
ノ清潔實施ト共ニ蠅ノ捕獲ヲ徹底セシメラレ度  
一「デング」熱散發ノ狀況ニ依リ各隊ハ午睡時ニ於テ  
蚊帳ノ使用ヲ嚴ニ勵行セシメラレ度

會報

ハ

會報

報

四月十四日二ノム  
セレンバン部隊本部

一裝備用自轉車ヲ別紙様式ニ依リ調査ノ上四月





勤務

現在頁  
月 日

九

九〇名

二十日迄ニ兵番委員ノ許ニ提出相成度

四月十五日 水曜日 晴後雨 於 子 子

一九時中隊ハ附近英軍敗残兵及不傾分子ノ搜索迄ニ掃蕩ノタメ中塚軍曹以下<sup>〇名</sup>白轉車<sup>〇名</sup>候トナリ<sup>〇名</sup>チ<sup>〇名</sup>ルン

間ノ搜索ヲ實施セシム

又~~御~~林~~中~~書~~長~~以下〇名<sup>〇名</sup>チ<sup>〇名</sup>ルン<sup>〇名</sup>道標三八間ノ搜索ニ

任ゼシムルモ英敗残兵ヲ認メズ附近部落民ノ動靜

一般ニ平穩ナリ 兩市候ハ十八時無事任務ヲ終了

シ歸隊ス

二十一日大隊長殿<sup>〇名</sup>チ<sup>〇名</sup>ルン附近ノ警備迄ニ住民ノ動靜視

察ノタメ巡視セラル 十二時三十分歸隊セラル

十一時ヨリ十二時迄日直下士官ヲシテ體操ヲ實施セシム

三本日ノ勤務員左ノ如シ

(納谷典・京東)

0335

別紙様式

裝備自轉車現況調査表

年

部

隊

名

定数	現		在		数		摘要
	山口	山口	山口	山口	山口	山口	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	摘要
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
	計	計	計	計	計	計	

備考

1. 程度区分ハ左ニ依ルモノトス
2. 甲ハ程度概不良ナルモノ
3. 乙ハ當分使用ン得ルモノ
4. 丙ハ修理不能ニシテ廢止處分ヲ要スルモノ

陸軍

巡察下士官

富永 章 普

日直下士官

二張 章 普

第一分哨

鴨 伍 長

第二分哨

以 下 伍 長

部隊衛兵

以 下 伍 長

南警備隊會報

今 田 伍 長

依蚊性傳染病(マラリア、

寺 本 伍 長

柄各隊ハ別紙「マラリア」ノ

以 下 伍 長

一、依蚊性傳染病(マラリア、

四月十五日ニハ、  
セラムバン警備隊本部

デング熱等)多發ノ折

参考ニ依リ防瘧

ノ勵行ニ努ムルト共ニ午睡時ト雖モ蚊帳ノ

使用ヲ徹底セシメ防瘧ニ遺憾ナキヲ期セラ

レ度

會報 四

0337

現在員  
月 日

九〇名

四月十六日 木曜日 晴 於 子 子

勤務

一 中隊八九時行動開始シ橋本少尉以下三十一名  
 (自轉車十名 自動車十一名) 將枝取候トナリ子ヲ  
 一ブルン間ノ敵情ヲ隱匿兵器及物資ノ搜索ノ  
 タメ出發 十四時任務終了無事歸隊ス

二 九時ニ張軍曹以下六名子ヲ一道路標ニ間ノ敵  
 情ヲ洽安搜索及掃蕩ノタメ出發十二時三十分  
 任務終了シ無事歸隊ス

三 十二時ヨリ富永軍曹ヲシテ自動車一車 銃兵十名  
 ラ指揮セシメ押收物資ノ收集ニ任ゼシム  
 子ヲ附近住民ノ動靜平穩ニシテ本日ノ警備  
 異状ナシ

四 本日ノ勤務員左ノ如シ

(納谷典・京東)

0338

巡察下士官	日直下士官	第一分哨	第二分哨	部隊衛兵	九〇名	現在員 月 日
高橋 伍長	郷路 伍長	打坂 伍長	以 下 伍長	以 下 伍長	以 下 伍長	以 下 伍長
四月十日 金曜日 晴 於 子 子 一、中隊八九時一齊ニ行動ヲ開始シ中隊長以下八 名「子子」カンボンブルン間ノ住民ノ動靜偵察並 ニ敗残兵掃蕩ノタメ出發ス此ノ附近ハ「ジヤングル 地帯」ニシテ一名ノ敗残兵ヲ発見セズ十三時二十分						

陸軍

0339

勤務

無事歸隊ス

二、九時倉本兵長以下九名「チチ」——「カンボンバルン」間ノ住民ノ動靜並ニ標高×ニ三高地附近ヲ偵察掃蕩セシムルモ異状ヲ認めズ

三、九時竹内伍長以下七名ヲ以テ「チチ」——「クロクラワン」道附近ノ住民ノ動靜並ニ民情搜索及第八中隊トノ連絡ヲ實施セシムルモ異常ナシ

西午候任務ヲ終了シ十三時無事歸隊ス

四、同時支那人密偵三名ヲ「ジロンドン」標高八四三高地附近ニ派遣シ住民ノ動靜偵察敗残兵ノ搜索ヲ實施セシムルモ何等ノ情報ナク歸來ス

「チチ」附近ノ住民ノ動靜整備異状ナシ

五、本日、勤務員左ノ如シ

日直下士官

中塚 肇 曹

(納谷典・京東)

0340

陸軍

巡察下士官 今田伍長

第一分哨 佐々木上等兵

第二分哨 以下五名

以鴨下伍長

命令六 渡作命第一二五號

南警備隊命令 四月十六日ハバシ

一、南警備隊ハ一部ノ兵力ヲ移駐セシメ地区外ノ衛生業務ノ圓滑ヲ期セントス

二、第二防疫給水部ハ成ルベク速ニ「クアラピラー」ニ移駐シ該地ニ於ケル防疫給水ニ任スルト共ニ「ハハ」及「クアラピラー」駐屯部隊ヲ擔任スベシ

三、第四野戦病院長ハ適宜醫官ヲ指定シ當分ノ間「セレハバン」駐屯ノ第二大隊ノ醫務ヲ兼勤セシム

0341



現在頁ハ 月日	會報
<p>四月十八日 土曜日 晴後雨 於 子 子</p> <p>一、中隊八九時行動ヲ開始シ橋本少尉以下八名ヲ 將校作候トシテ「シロソングル」方面ノ搜索ヲ實施 セシム</p> <p>「子子」西北方三料ノ地点ニテ錫工場一ヲ發見ス依 ッテ附近住民ヲ調査訊問セルモ外ニ隱匿兵器及</p>	<p>南警備隊長 渡邊 大 佐</p> <p>下連法 要旨口達後印刷交付</p> <p>南警備隊會報 <small>四月十六日 一六〇。</small> <small>七レハバン警備隊本部</small></p> <p>一、各警備地域ハニ於ケル自轉車補修用部品ノ 市井所有概數及各隊ノ所要數調査ノ上四月 二十二日迄ニ提出相成度</p> <p>九〇名</p>

(納谷 奥・京東)

0342



陸軍

物資ヲ發見シ得ズ

同時自轉車中候トシテ郷路伍長以下ノ名ヲ派遣

シテナレ | カワラクラワン道附近ノ西搜索ヲ實施

セシム

十二時三十分兩中候任務ヲ終了シ歸隊ス

一、十時支那人密偵三名ヲ派遣シ標高一二四高地附近

ヲ搜索セシムルニ任氏一般ニ平穩ニシテ敗兵ヲ認

メズ

本日ノ警備異状ナシ

勤務

二、本日ノ勤務員左ノ如シ

日直下士官

巡察下士官

第一分哨

二張軍曹

富永軍曹

倉本伍長

以下五名

0343

現在 月日	異 動	部 隊	職 名
四月十九日 日曜日 晴	陸軍一等兵 診断の結果第四野戦病院へ入院ス	部隊衛兵	今田伍長 以下五名 以下五名 以下五名
一、中隊八將校ノ指揮スル一々小隊ヲ以テ二十日迄現任 務ヲ續行セシメ中隊主力ハ前分留地ニ復歸ヲ命ゼ ラル依ツテ橋本小隊(自動貨車一車輛屬ス)ヲ残置 シ現任務ヲ續行セシメ主力ハ九時三十分出發準備 ヲ完了シテ「クアラピラー」ニ向ヒ前進ス 十二時四十分「クアラピラー」ニ到着ス	八九名		

(納谷典・京東)

0344